

防災の“呼びかけ”音声は誰でも活用可能に AIによる音声データのオープン化

NHKは、経営計画で、「地域の情報発信強化や日本の放送・メディア業界への貢献」を掲げ、その具体的な形として、NHKが持つコンテンツやデータのオープン化(公開)、またNHKが開発した技術や知見の共有に取り組むことをお約束しています。

その一つとして、今回、“音声”のオープン化という新しい挑戦をします。

オープン化する音声は、大雨による災害が想定されるときにアナウンサーが警戒や避難を促す“呼びかけ”です。長年防災・減災報道に取り組んできたアナウンサーたちの“伝える技術”をAIに学習させ、作成しました。8月23日に公開した“呼びかけ”のテキストと合わせて、誰でもダウンロードできます。

水害が相次ぐ中、自治体や学校、企業、ローカルメディアなどで防災に関わる方々が、マニュアル作りや実際の呼びかけで活用していただくことを想定しています。

今後もニーズを踏まえながら、改良を重ねていきます。

雨が強まる前に地域のハザードマップを確認するなど、近くに危険な場所がないか確認して下さい。

▶ 0:00 / 0:08



↓ ダウンロード

いつでも避難できるよう準備をするとともに、危険を感じたら自主的に避難を始めましょう。

▶ 0:00 / 0:07



↓ ダウンロード



NHKアナウンサー



命を守る

“防災の呼びかけ”

[\(https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/\)](https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/)

(参考)

9月4日(日)総合テレビ11:20からの番組「どーも、NHK」で、今回の発表を含む防災のさまざまな取り組みを放送する予定です。